

財団法人おかやま環境ネットワーク

## 第7回理事会議事録

- ◇ 開催日時：2002年8月10日（土）10時～12時
- ◇ 会場：岡山市奉還町一丁目7-7 オルガ5F会議室スカーレット
- ◇ 出席：青山 白井 千葉 成田 日名 藤原 三村 安場 由比濱  
委任：相賀 太田 勝 佐藤 清水 唯  
(監事) 赤坂 (事務局) 黒岩

▽：発言内容 ⇒：発言への回答又はその項目で確認された内容。

16名中委任出席を含めて15名出席。議長に千葉理事長、議事録署名人に白井理事、成田理事を選出し議事に入った。

冒頭、日名専務より衣笠理事の死去についての報告があり、千葉理事長の提案により出席理事で黙祷を捧げ衣笠理事の冥福を祈った。

## 【報告事項】

エコファミリー講座、活動支援費支給に関する事項は黒岩事務局員、その他の事項は専務理事から報告・説明があり、それぞれ以下の通り確認した。

- 1 7月末決算報告・会員状況について
  - ・ 収支計算書、貸借対照表による決算報告。
  - ・ 会員状況は、7月末日で189会員となっている。
- 2 事業報告
  - ① 第1回テーマ別講座が5名の参加申し込みで中止となったこと。参加が広がらなかった原因の把握は出来ないが、賀陽町への現地集合と市内からのバス希望者への交通費負担を打ち出したことが影響しているかと考えられる。第2回の状況を見て、改めてテーマ別講座のあり方の検討を考えたい。
  - ② 第1回企業セミナーは、部会メンバーによる参加の訴えをしたことが効を奏して28社30名+個人1名の計31名の参加で、セミナーとしての一つの実績づくりをすることが出来た。
  - ③ エコファミリー講座は、総勢125名の参加となった。初日は自然にふれるコースを5コース化したこと、夜の企画はキャンプファイヤーに切り替えたこと、2日目の親のコースでは、薫製づくり・柏餅づくりの体験型に変更したなどこれまでの企画をより実際に即した形で改善した。子どもの興味を引く虫取りの企画を強化したこと等も効を奏して、より新鮮で魅力のある企画となり、参加者が増えたと思われる。無事に終了し、良かったとの評価の多い感想が寄せられた。
  - ④ 活動費支援費では、岡山の水と緑と空気を守る連絡会の手続きが整い支援費を支給したこと。
- 3 部会などの報告
  - ① 第2回共同研究検討委員会の報告
    - ・ 団体アンケートの集約状況。
    - ・ 検討委員会の論議状況と確認点の報告（ホテルを守ることをきっかけに環境浄化保全を進める県内の取り組みの交流ネットワークをはじめ、県内のあらゆる分野の諸活動の交流の場としての「おかやま環境サミット」的な取り組みなどの検討）。
    - ▽ 児島湖流域清掃大運動実行委員会に参加してみて、行政が水質調査などのデータを含めて報告書を作ったりしているが、どういう方向で取り組んでいくか、参加団体などの力をどう生かすかなどが見えにくい状況を感じた。そのあたりでのネットワークの関わりや役割も検討できるテーマかと思うが。
      - ▽ 自発的な市民の活動を引き出し育てる観点が大切。
      - ▽ ネットワークが何をめざして活動しているかを指し示せたらよいのではないか。
      - ▽ 様々な取り組みで携わっている人を励まし、また次の世代の担い手を育てる場が大事。
      - ▽ 市民の参加の広がりを作り出す場づくりが大事。
      - ▽ 成果を性急に期待するのではなく問題意識の醸成の場であることが求められているかもしれない。
      - ▽ 行政への積極的な提言が市民の活動の中から生まれることが環境行政を動かすことになる。そのような状況づくりのきっかけに。
    - ⇒ 中間報告をふまえて、以上の意見もさらに論議の中で深め、とりまとめに生かすこと。
  - ② 環境家計簿運動運営PJの取り組み状況
    - ・ 7月中旬での登録が63名であること。
    - ・ 現在県内の環境団体への働きかけを手分けして進めていること。
  - ③ 11月環境シンポジウム実行委員会の報告
    - ・ 日程が11月2日午後1時から4時の間となったこと。
    - ・ シンポジウムの企画のねらいが煮詰まり、企画のあらましがまとめられつつあること。

- ・ シンポジウムの企画のねらいが煮詰まり、企画のあらましがまとめられつつあること。

◀ 先頭ページ

◀ 前のページ

次のページ ▶

最終ページ ▶

- ・ 講演は渋澤寿一氏（NPO法人樹木・環境ネットワーク協会専務理事）に依頼すること。
- ・ 地球温暖化のメカニズムと地球環境サミット報告、各分野の取り組みなどの報告をふまえて会場全体での自由討論を重視すること。
- ・ 8/13実行委員会で企画を固め、広報にはいること。

## 〔協議事項〕

「市民環境リーダー養成講座2002年度の企画」「ホテルを守る会の連絡会開催」については黒岩事務局員、その他の項は専務理事の提案説明をもとに協議し、それぞれ提案を確認・決定した。

### 1 講座企画について

- ① 市民環境リーダー養成講座の2002年度企画について(9/21,10/19,11/23,12/7,1/13,1/25)

昨年度の企画を基本として、地球の構造と環境問題をより関連づけて学べるように整理したこと、実験や実習を充実させる等の充実を図った。

- ② テーマ別講座（第2回）について（9/28）

シックハウス症候群の問題を深めるテーマで実施すること。

- ③ 第2回企業セミナー（10/18）

企業のトップを対象にした環境マネジメントと環境対策の事例をテーマとする。

### 2 日本冷凍機学会の市民フォーラムにむけて（11/18）

- ・ お知らせを開始する。
- ・ 各団体での参加を広げる。

### 3 2002年度の助成募集のすすめかた（11/1～30）

募集要項及び日程の確認

### 4 会費と寄附の今後の取り組み方

会費の徴収の強化を重点に、期間を11月まで延長して、手分けして取り組むこと

### 5 「ホテルを守る会」連絡会準備会開催について

- ・ ホテルを守る会は各流域に多くの団体があり、それぞれ独自に活動しているが、お互いの交流や学び合いの場を求める意見があり、連絡会の開催を呼びかける。
- ・ 共同研究検討委員会でも論議になっていることとも関連するので、その点を考慮しながら準備会を開催する。

次回第8回理事会は10月12日（土）10:00～12:00の日程で開催する。

以上

